

## 第1回双葉町復興町民委員会 議事概要

■日時：平成27年7月30日（木）午後1時30分～2時50分

■場所：双葉町いわき事務所 2階大会議室

■出席者：別紙座席表のとおり

### ■議事概要

1. 開会（略）
2. 委嘱状交付（略）
3. 町長あいさつ（略）
4. 双葉町復興町民委員会設置要綱について（説明：事務局）
5. 協議事項

委員の主な意見は以下のとおり。

#### （1）委員長並びに副委員長の選任について

※委員の互選により、委員長には田中清一郎委員、副委員長には、高野泉委員と岡村隆夫委員が選任された。

○委員長という大役を仰せつかった。町民の一人としてできるだけ早く他町村と同じレベルとなるように復興を推進したい。双葉町民は町外に避難し2年6ヶ月位の空白があり、かなり復興が遅れている。推薦された委員の協力を得て、町内の復興についてコミュニティを中心として進めたい。

○委員長を補佐しながら、生活の再建、きずなの維持発展や復興等のまちづくりを委員の意見を聞きながら進めていきたい。

○復興が大変遅れていると感じていた。学校も再開したので、できるだけ早くまちを大きくしていかななくてはならないと感じている。様々な立場から意見を聞いて前に進みたいので、協力をお願いしたい。

(2) 会議の公開について (説明：事務局)

※特に異議なく、会議の公開については事務局案で承認された。

(3) 部会の設置と今後の委員会の進め方について

○部会は名簿があるが、分科会の名簿はない。(分科会は) どのようなものか。

○分科会のメンバーは復興産業等拠点部会のメンバーから選ぶのか。あらためて選ぶのか。

○部会の設置及び今後の進め方等については、事務局案としたい。

※最後にアドバイザー兩名から、あいさつを兼ねて以下の助言をいただいた。

○(前年度開催した「復興推進委員会」で策定した)長期ビジョンは総論であるが、各論を進めていかなくてはいけない、ということで「復興推進委員会」でも最後に「復興産業検討部会」を作った。「復興推進委員会」では1つだけ部会を作ったが、それ以外の分野についてもテーマに関心のある人が集まり議論をしていかないと、総論が各論にならない。各論の検討には部会が必要だということで、今回は部会を重視した体制としたことはありがたいことだ。

○実現が可能な提言をしなくてはならない。昨今の政府の動きをみると平成28年度は重要な年になる気がする。2年後には2つの区域が解除される。帰還困難区域が大半を占めるが、復興拠点については「除染を先行して行い早期に復興拠点を作る」と打ち出している。実現するには、現実的な議論を国に対して行う必要がある。「復興町民委員会」では「現場の人」やそれぞれの分野の「専門家」が参加しているので、現実的であり実現可能な提言をまとめてほしい。

○(震災から)4年数ヶ月が経ち来年度は大きな位置づけとなる。(今年度)委員会と分科会が設けられたことで新たな領域に入った。

○避難地域12市町村では介護ニーズが高まり3割くらい(介護費用が)アップしている。(避難の)長期化等の問題により軽度・中度の人たちが多くなってきた。今までは大きな家で歩くこともできたことが、仮設では難しくなっている。介護保険料も避難地域はトップレベルである。今は負担感が小さいが、今後避難解除されると一気に高齢者の負担となり、この問題をどうするかが大きな課題である。

○双葉町や大熊町では住民の4分の1は住宅を購入し始めている。災害公営住宅ではない住まいの再建をどうするのかも大きな課題だ。現実的に住まいの再建を行う中で、できるだけ早く生活再建をしたい町民と町民のコミュニティとをどう結び付けていくのが課題だ。

○産業については、これから大きな課題になっていくと思うが、避難指示解除にともない営業就労損害の問題が大きな課題として出てくるだろう。避難地域12市町村の8千事業者に対して個別の支援をしていくと国は示している。多くの事業主が個人事業者であり高齢者である。地域に戻って再建する人が少ないと、廃業する人が多くなる。地域を支え商業を担っていた人達がきちんと地域で再稼働することが必要になるが、どうしたらよいかの課題である。新産業の創出も課題だが、もともと産業を担っていた人が事業・商売を再開していくにはどうしたらよいかを考えていかななくてはならない。

6. その他

7. 閉会

以上

# 第1回双葉町復興町民委員会座席表

1. 日時 平成27年7月30日(木)午後1時30分～
2. 場所 双葉町役場いわき事務所 2階大会議室

|                                     |                 |                 |             |        |  |                |                  | (敬称略)             |  |
|-------------------------------------|-----------------|-----------------|-------------|--------|--|----------------|------------------|-------------------|--|
| 平岩 邦弘                               | 事務局<br>(復興推進課)  | 町長<br>伊澤 史朗     | 双<br>葉<br>町 | 羽山 君子  |  | 高野 泉           | アドバイザー<br>間野 博   |                   |  |
| 網蔵 孝紀                               |                 | 副町長<br>半澤 浩司    |             | 白岩 寿夫  |  | 石田 翼           |                  | アドバイザー<br>丹波 史紀   |  |
| 細澤 界                                |                 | 総括参事<br>武内 裕美   |             | 田中 清一郎 |  | 藤田 博司          |                  |                   |  |
| 橋本 靖治                               |                 | 総務課長<br>舶来 丈夫   |             | 横山 久勝  |  | 伊藤 吉夫          | 福島県<br>(避難地域復興課) | 駐在員(副課長)<br>後藤 竜也 |  |
| 山下 明弘                               |                 | 秘書広報課長<br>志賀 公夫 |             | 岡村 隆夫  |  | 栗田 要<br>(当日欠席) |                  | 主査<br>根本 朝彦       |  |
| 鈴木 薫                                |                 | 産業建設課長<br>猪狩 浩  |             | 渡邊 重友  |  |                |                  |                   |  |
| 米山 治介                               |                 | 教育総務課長<br>今泉 祐一 |             |        |  |                |                  |                   |  |
| (財)電源地域<br>振興センター<br>客員研究員<br>中村 元則 | 生活支援課長<br>志賀 睦  |                 |             |        |  |                |                  |                   |  |
|                                     | 健康福祉課長<br>橋本 仁  |                 |             |        |  |                |                  |                   |  |
| (財)電源地域<br>振興センター                   | 議会事務局長<br>山下 正夫 |                 |             |        |  |                |                  |                   |  |
|                                     | 事務局             |                 |             |        |  |                |                  |                   |  |